

# 北海道新幹線 札幌トンネル(札幌) 工事説明会

ダンプトラックの運行時間等の変更について

2025年9月10日(水)

鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局

大林・東亜・大本・みらい・丸彦渡辺

北海道新幹線、札幌トンネル(札幌)特定建設工事共同企業体

# 本説明会の目的と内容

## ■ 目 的

2024年4月にいわゆる『働き方改革関連法』が建設業にも適用されたことに伴い、ダンプトラックの運行時間等を変更したく、発進立坑ヤード周辺にお住いの皆さまを対象にご説明するものです。

## ■ 内 容

1. 工事の進捗状況
2. ダンプトラックの運行時間の変更
3. 工事稼働日の変更
4. 運行ルートの変更

1. 工事の進捗状況

2. ダンプトラックの運行時間の変更

3. 工事稼働日の変更

4. 運行ルートの変更

# 札幌市街地に

# 約8.4kmのシールドトンネルをつくります

- 工事名称 北海道新幹線、札幌トンネル(札幌)
- 発注者 鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局
- 受注者 大林・東亜・大本・みらい・丸彦渡辺  
北海道新幹線、札幌トンネル(札幌)  
特定建設工事共同企業体
- 施工場所 札幌市手稲区西宮の沢2条2丁目2  
(発進立坑ヤード)
- 工期 2019年1月17日～2028年1月31日

# 札幌市街地に 約8.4kmのシールドトンネルをつくります

## ■工事概要

札幌トンネル約26.2kmのうち、

**札幌市街地の延長約8.4km**

シールド機を組立・発進するための**発進立坑**

シールド工法※ による 2方向の**シールドトンネル**

- 発進立坑 ・ ・ ・ ・ ・ 1箇所（2020年12月完成済み）
- シールドトンネル ・ ・ ・ ・ 2方向

※シールド工法とは、泥土で地山（トンネル掘削の先端部）の土圧と水圧に対抗して地山の安定をはかりながらシールドを掘進させ、覆工（トンネルの本体/コンクリートの板）を組立てる工法です。

# 札幌トンネル(札幌)の工事現況

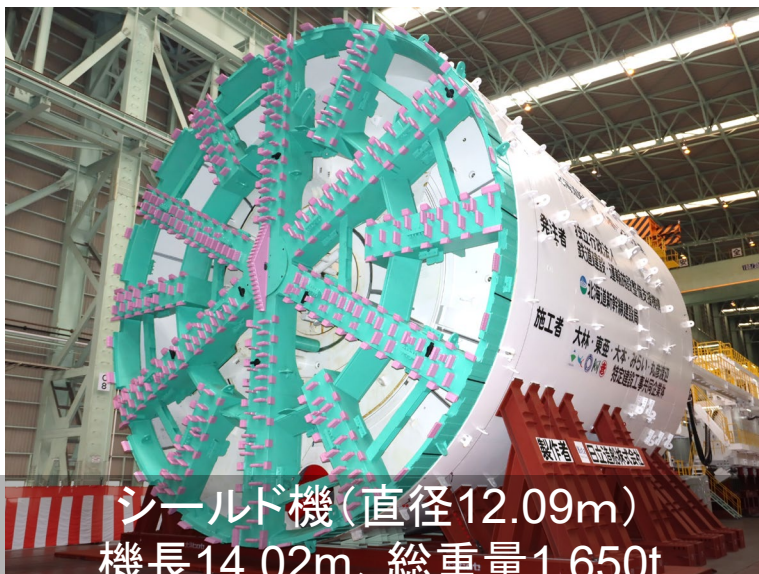
2019年4月に工事着手し、札幌方のシールドトンネルをつくっています



発進立坑(防音ハウス内)



シールドトンネル(札幌方)



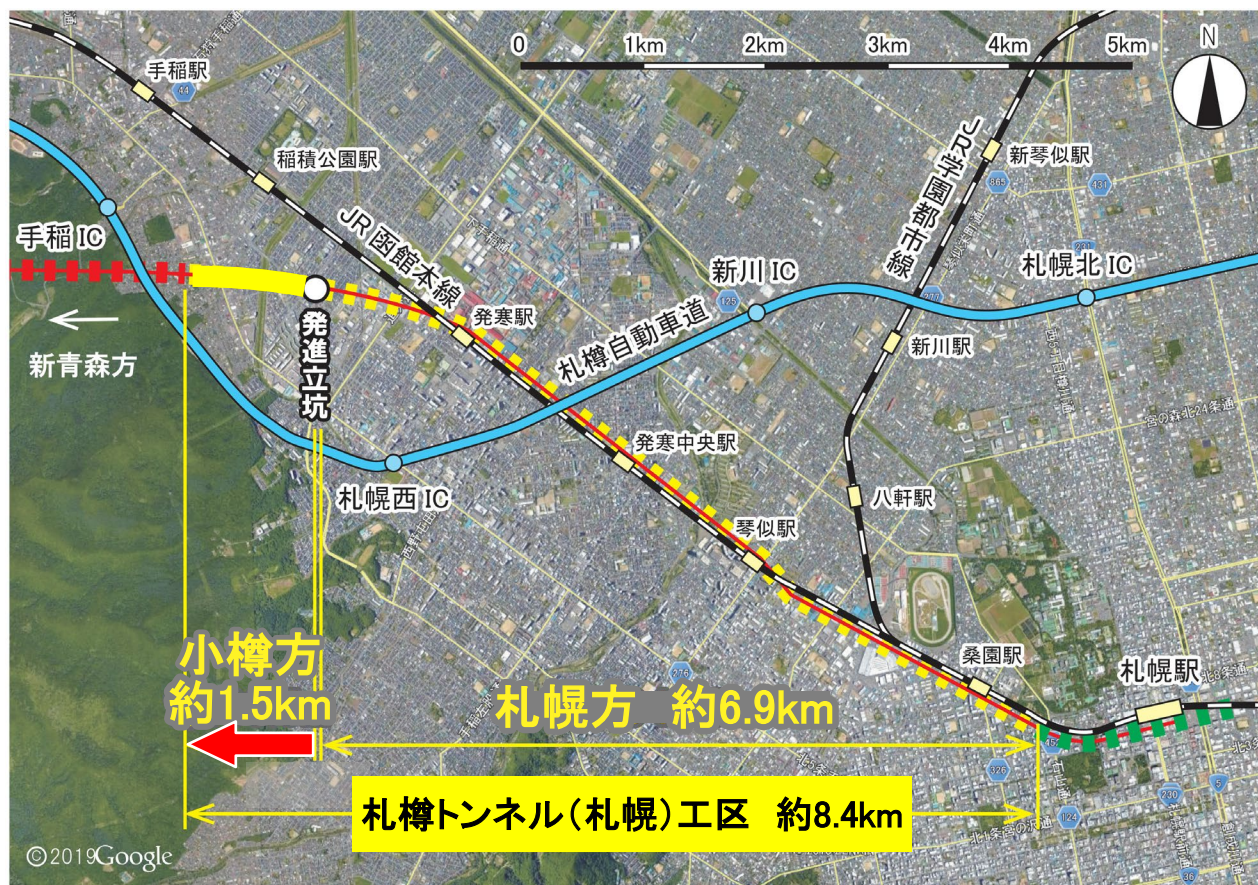
シールド機(直径12.09m)  
機長14.02m、総重量1,650t



シールドトンネル(札幌方)

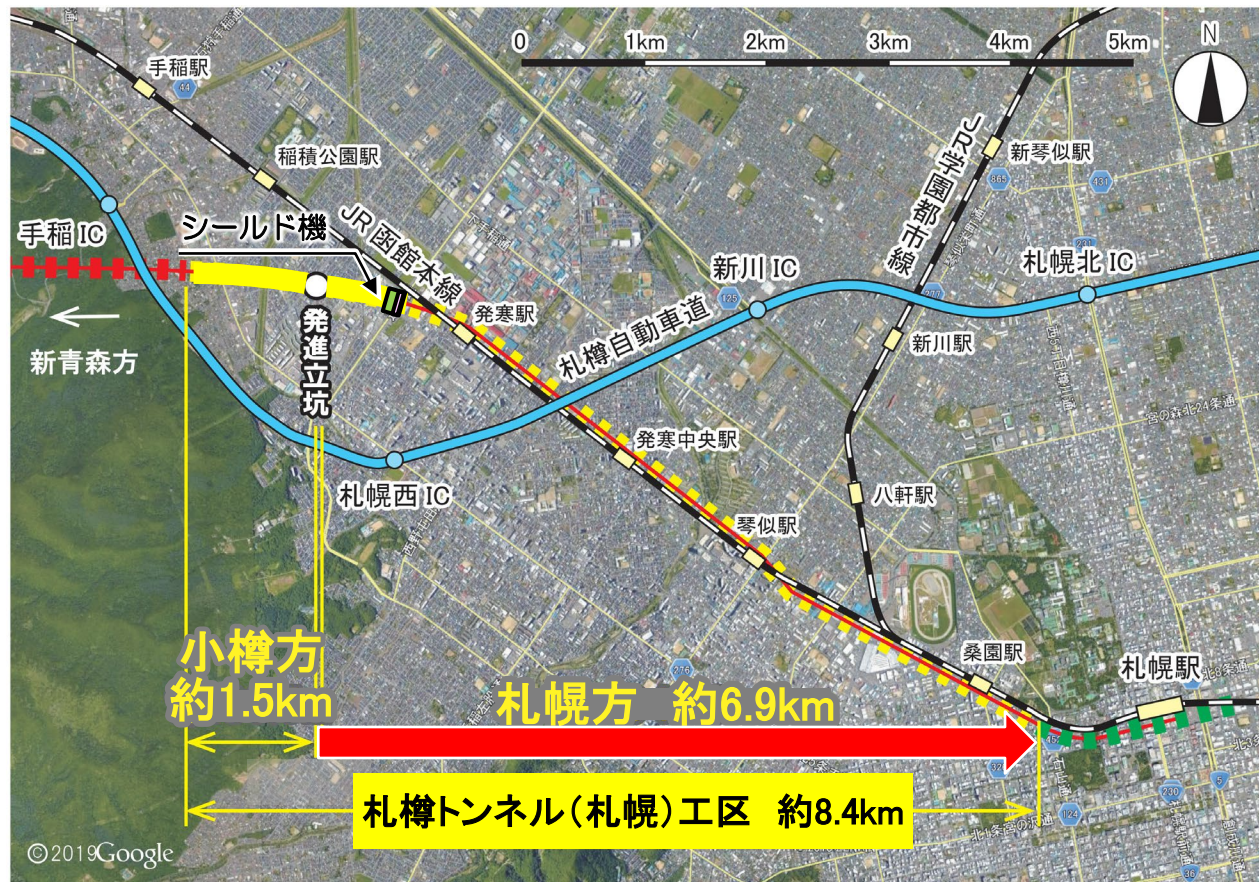
# 発進立坑から**小樽方**に向かって約1.5km シールドトンネルをつくりました

■2023年4月にシールド(**小樽方**)到達



次に発進立坑から札幌方に向かって  
約6.9kmシールドトンネルをつくります

■2025年8月現在 約700m掘進完了



# シールドトンネルは 新幹線の上下線が収まります

一次覆工セグメント

路盤  
コンクリート

インバート  
コンクリート

0.50m 内径 = 10.85m 0.50m  
外径 = 11.85m

身長  
約1.70m

11.85m

一次覆工セグメント写真(全体)

一次覆工セグメント写真(ピース)

# 工事の進捗状況

## 札幌方のシールドを掘進中です

| 工事区分              | 2021年              | 2022年                 | 2023年              | 2024年 | 2025年 | 2026年                 | 2027年 | 2028年 |
|-------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|-------|-------|-----------------------|-------|-------|
| シールド仮設備           | 小樽方<br>シールド機<br>組立 |                       | 札幌方<br>シールド機<br>組立 |       |       |                       |       |       |
| シールド掘進            |                    | 小樽方<br>シールド掘進<br>残土搬出 |                    |       |       | 札幌方<br>シールド掘進<br>残土搬出 |       |       |
| インバート・<br>トンネル内設備 |                    |                       |                    |       |       | インバート・トンネル内設備         |       |       |

今後状況により工程が変更になることがあります。

1. 工事の進捗状況

2. ダンプトラックの運行時間の変更

3. 工事稼働日の変更

4. 運行ルートの変更

# ダンプトラック運行時間変更の背景(夜間)

- 2024年4月「**働き方改革関連法**」の建設業への適用に伴い、多くの現場で4週8休(基本的に土日お休み)が導入されました。また、労働時間の上限規制によりドライバー不足が深刻化しています。(いわゆる**物流・建設業界の2024年問題**)
- 当工区においても、シールド掘削土の運搬におけるドライバーの確保が深刻な問題となっており、新幹線工事を予定通り進めていくためには、**ダンプトラックの運行時間の変更**が必要となっています。
- 様々な**環境・安全対策の実施**を前提に、近隣の皆さまにご理解とご協力いただきたく、お願い申し上げます。

# 工事用車両の通行による騒音・振動防止 に努めます(今回変更)

- ダンプトラックの運行時間を変更します(2025年9月下旬～(予定))。

※昼間(7:00～18:00) 延べ270台/日程度 (※7:00～19:00 410台/日)

※夜間(20:00～6:00) 延べ180台/日程度 (※19:00～22:00 40台/日)

※( )内は2023年9月工事説明会での説明内容

- 現場周辺で徐行の徹底に努めます。

さらに、22:00～5:00は最徐行(20km/h程度)を徹底します。

- ダンプトラックは、基本的に土曜・日曜は走行しません。

※ダンプトラックの延べ台数に変更はありません。(昼夜で延べ450台/日)

※ダンプトラック・その他工事用車両の台数は、工事の進捗に伴い変動します。

1. 工事の進捗状況
2. ダンプトラックの運行時間の変更
3. 工事稼働日の変更
4. 運行ルートの変更

# 騒音・振動の発生に十分配慮して、 **昼夜間**工事を進めさせていただきます

- 2024年4月より工事稼働日を以下の通り変更しました(4週8休)

|           | 月   | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日     |
|-----------|-----|---|---|---|---|---|-------|
| 2024年3月まで | 作業日 |   |   |   |   |   | ----- |
| 2024年4月から | 作業日 |   |   |   |   |   | ----- |

- 作業日 : 月曜日(朝)～**土曜日(朝)** (※日曜日(朝))

- 作業時間 : **昼夜間(24時間)** ※( )内は2023年9月工事説明会での説明内容

※土曜日は工事の進捗によって稼働する場合があります。

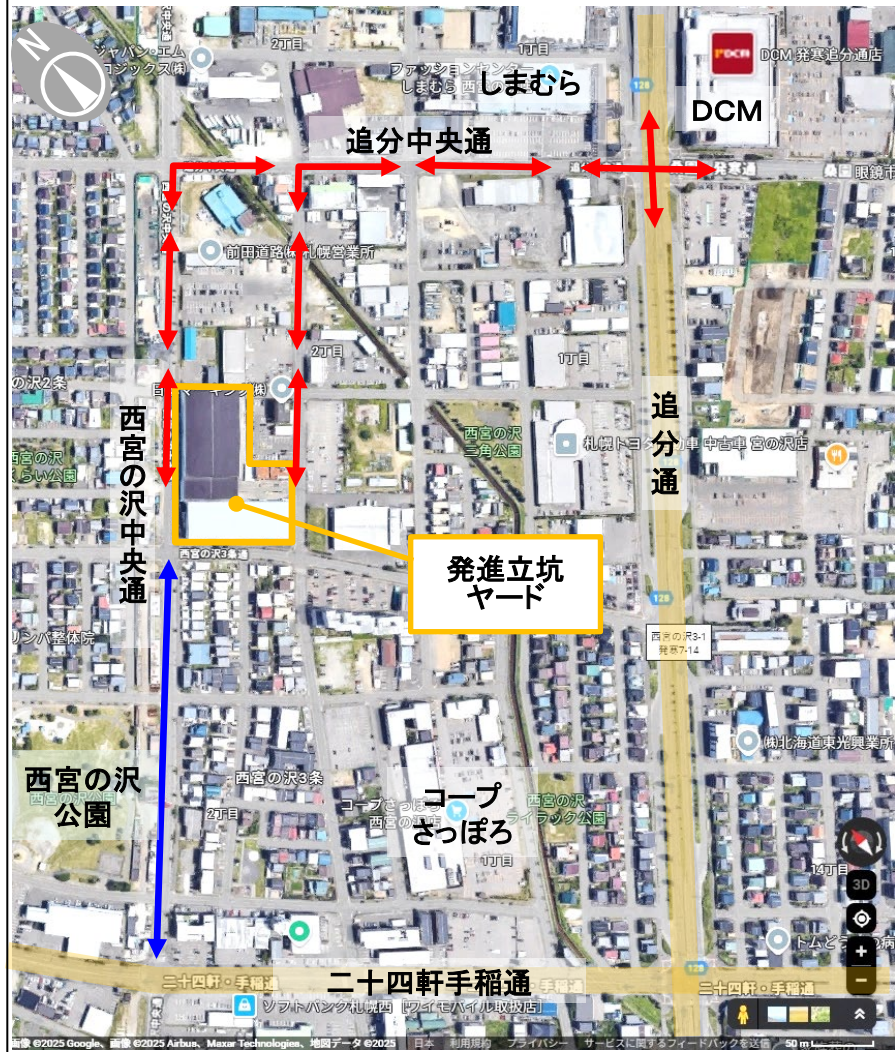
※日曜日は機械などのメンテナンス等を行う場合があります。

※GW・お盆・正月はお休みします。(事前に情報掲示板等でお知らせします。)

1. 工事の進捗状況
2. ダンプトラックの運行時間の変更
3. 工事稼働日の変更
4. 運行ルートの変更

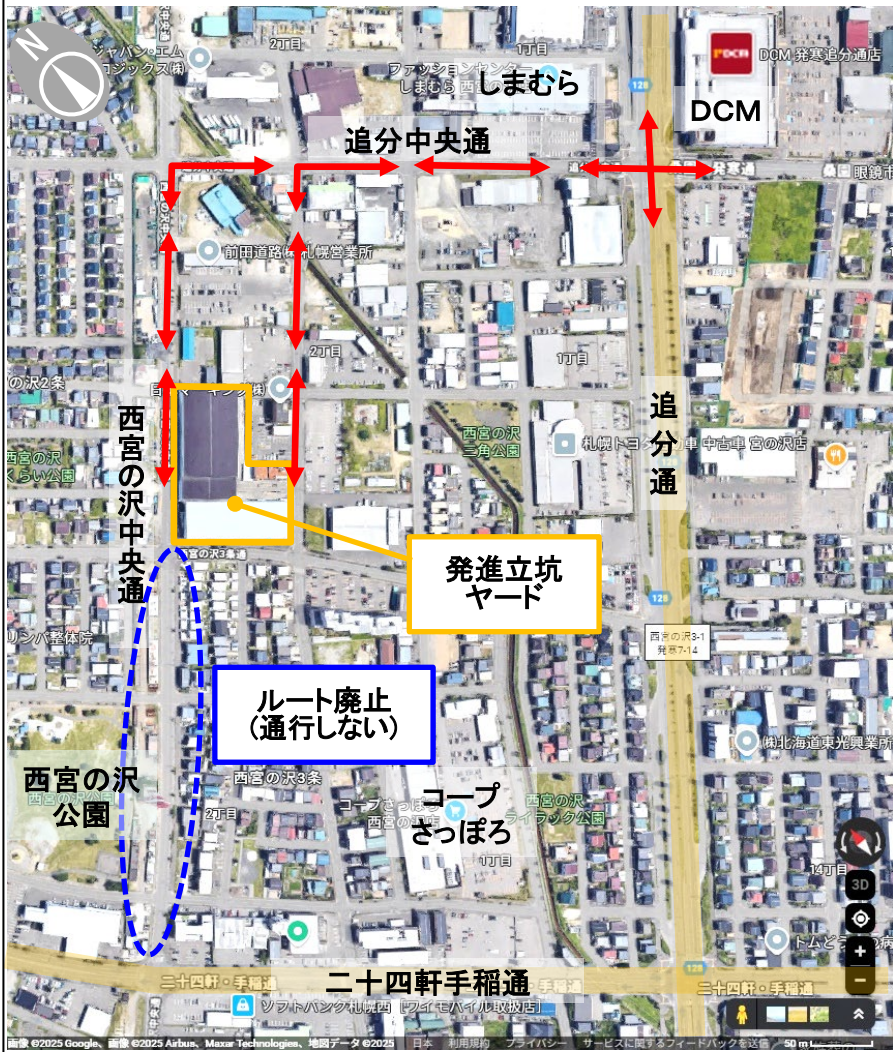
# 運行ルートの見直し(通学路の横断ルート廃止)

変更前



- ↔ 工事用車両ルート (ダンプトラック・その他の工事車両)
- ↔ 工事用車両ルート (生コン車ほか)

変更後 (2025年9月下旬～(予定))



- ↔ 工事用車両ルート (ダンプトラック・生コン車・その他の工事車両)

# 現場周辺の通行に細心の注意を払います

## 工事用車両の運行ルール

- ・歩行者・一般車両を優先
- ・工事用車両は基本的に追分通～追分中央通を利用
- ・子供の飛び出しに注意
- ・現場周辺は徐行徹底（30km/h）

22:00～5:00は最徐行（20km/h程度）します

- ・通学路は通行禁止

さらに今後は通学路の横断はしないこととします

# お気づきの点があればこちらまで

## ■工事に関するお問い合わせ

大林・東亜・大本・みらい・丸彦渡辺

北海道新幹線、札幌トンネル(札幌)特定建設工事共同企業体

- 住 所 札幌市手稲区西宮の沢2条2丁目2 (発進立坑ヤード内)
- 電 話 011-688-7851
- 担当者 大浦(おおうら)

## ■事業に関するお問い合わせ

鉄道・運輸機構

北海道新幹線建設局 札幌建設事務所(札幌西)

- 住 所 札幌市西区二十四軒1条6丁目107-1
- 電 話 011-612-5000
- 担当者 谷口(たにぐち)、近藤(こんどう)

# 最後に

一日も早い新幹線の札幌延伸に向け、  
近隣の皆さまの安全と安心を第一に  
施工者一同が全力で取り組んでまいります。  
皆さまのご理解とご支援を賜ることが  
出来れば幸いです。

よろしくお願い申し上げます。